

「安全・防災」のさらなる向上を目指して

建設工事の安全管理総点検を 実施しました

去る2月4日（水）に建設工事の安全管理総点検を実施しました。実施した工事現場は「大滝根川河道整備工事」です。大滝根川河道整備工事は、郡山市の壘築建設株式会社が請負い進めている工事で、前貯水池上流の土砂撤去とストックヤードの土砂を福島空港拡張工事へ搬出する工事です。点検した日は福島空港への土砂搬出作業を実施しており、主任監督員である大類所長と監督にあたる管理係で点検を実施しました。

点検は、土砂搬出現場の点検、現場事務所の点検を行い、その後、現場事務所内で監理技術者から安全対策のヒアリング並びに点検による指摘事項の報告を実施しました。安全対策のヒアリングからは、土砂運搬路である県道等の路面凍結に融雪剤散布を実施し、運搬経路の安全確保に努めているなどの話が、また指摘としては、現場出入口部の路面清掃に伴う排水路へ流出した土砂の処理について現地を確認し、その処理並びに対策する指示をしました。

（写真右）

本年度も後2ヶ月をきりました。最後の最後まで気を緩めず、安全第一に工事完成を迎えるよう頑張らしましょう。



大類所長を講師に自然災害に ついての勉強会を開催

去る2月3日（火）、大類所長を講師に第2回勉強会を開催しました。テーマは、「ストレスコントロール」と「地震のメカニズム」の2題についてです。

まず第1の演題「ストレスコントロール」についてです。

現代は「ストレス社会」であり、各自がストレスとうまく対処して行かなくてはならない。また、本人の意識で対処できるものもあれば、医者や家族など、第三者が手を差し伸べなくては飲み込まれてしまうものも存在する。しかし、ある程度のストレスは活力を与えるものであり、必要なものであるという事でした。

第2の演題「地震のメカニズム」では、近年発生する可能性が非常に高いとされている宮城沖地震について、東北地方整備局HP内にコンテンツが出来たという報告がありました。

普段私達が何気なく聞いている「地震」や「マグニチュード」、「震度」について、地震波、プレートの摩擦による地震と火山性地震の相違点等について詳細な説明がありました。特に興味深かったのは「プレートテクトニクス」の話でした。プレート自体は変形せず、プレート境界で地震等の大規模な地殻変動が起こるとする考えです。



日本は地震列島と呼ばれていますが、それを裏付けるように、マグニチュード5以上の地震を世界地図にプロットすると、環太平洋地震帯に世界の地震の9割、地震エネルギーの98%が集中しており、その中においても日本はプロットされた点により見えなくなってしまうような状況でした。日本付近には4つのプレートがあり（学者によっては3つという説もあるそうですが）、各々が東に西に、はたまた北にと年間1cmから10cmも移動しているそうです。確かにこれでは、地震も多いはずですが。



環太平洋地震帯に世界の地震の9割、
地震のエネルギーの98%

今年度は特に三陸沖での地震（これは広い意味、福島県沖まで含む感でとらえて下さい）が多発しています。いざ、地震となった場合の備えについて、職員一同改めて考えさせられた勉強会でした。

最後に今回の地震関連の講話について、解らない事があればいつでも質問は受け付けます、との事でした。興味のある方は三春ダムHPのメールでお便りいただければ、仲介も致します。

“雪崩シンポジウム in 新潟” に参加して

渡辺・柳内・菅原

1月29日（木）に、新潟市で行われました、雪崩シンポジウムに出席する機会をいただきました。

シンポジウムの会場は、昨年オープンしたばかりの朱鷺メッセというところでした。シンポジウムでは、雪崩のメカニズムや、過去の雪崩の発生状況、豪雪地帯での暮らしなど、多方面の方がパネルディスカッションで論議されました。中でも興味深かったのは、雪を観光資源として利用し、町を活性化しているというお話でした。普通、私達がいやがる雪を逆手にとり、除雪した雪にろうそくを並べたり、雪を沖縄などに送っているそうです。

2日目は、大河津分水（新潟、信濃川）を見学させていただきました。大河津分水は、信濃川の洪水防止のために分水路を造り、堰で流量を調節しようとするものです。堰の近くに大河津資料館があり、今までの洪水の歴史や分水の歩み、洪水氾濫のシミュレーション等が分かりやすく展示してあります。

資料館の屋上にあがると、分水を一望することができました。また、近くが公園として整備されており、いくつかの碑が散在し今までの工事の労苦を偲ばせます。

今回は冬だったのですが、近くには桜並木があり、春は魚の遡上も見ることが出来るそうなので機会があればまた訪れたいと思います。



大河津分水

佐藤さんお疲れ様でした

管理係 佐藤 正一

今年の4月からお世話になりましたが、あとゆう間に、過ぎたように思います。

朝の通勤は、初めの1週間は眠かったなー。ダムの女性は、朝・清掃。電話が鳴れば競争、1.2！私の仕事についての内容は、他に報告し

てあるので省略させていただきます。

夏のイベント“さくら湖自然教室”では、昆虫班としてカブト・クワガタ虫など、子供に戻った感じ。ボートでの巡視途中では、エンジントラブルで湖面上でハット、堤体内では突然電気が消え、真っ暗状態を体験しました。

昼休みのテニスは、風が吹こうと少々の雨、雪が降ろうとやりました。また水曜日においては、サッカー（夏場）、学生時代に戻った気分。更に町営テニスコートでは、ナイターもしました。

本当に短い間でしたが、皆様方にお世話になりました。

堤体巡視をする私→



2月からよろしくお願ひします



2月から非常勤職員として採用された江口雅子さんです。

プロフィール

出身地 生まれは茨城県（母の実家）です。その後すぐに福島県で生活が始まり、いわき市、福島市、郡山市をぐるっと転校してきました。今は郡山市の緑ヶ丘に住んでいます。

趣味 映画を観ること
一言 とてもあたたかい職場だと感じました。早く仕事にも慣れるように、がんばります。でもゴミの分別のしかたにはびっくりしました。これにも早く慣れたいと思います。よろしくお願ひします。



シリーズ 「私のふるさと紹介」

福島市は福島県の北部に位置し、人口が約29万人の県庁所在地です。町の南北に阿武隈川が流れ、市の中央には信夫山という山がぼっこりと立っています。西には磐梯朝日国立公園の一部、浄土平を含む磐梯吾妻スカイラインが走っています。また、飯坂、高湯、土湯、野地等の温泉があり、連休時や行楽時には多くの観光客が訪れます。競馬場もあり週末は競馬ファンで賑わいます。(ちなみに私はやりません)また現在、飯坂温泉の上流に摺上川ダムが建設中であり、福島市の水瓶になるとともに新たな観光のスポットとなりそうです。以上簡単に述べましたが、PRを兼ねて2、3箇所私のおすすめの場所をご紹介します。

まず、時期的には、4月上旬が一番いいと思うのですが、福島市の渡利地区に花見山公園という所があります。(下写真)市内から車で10分位で行くこと

ができます。個人の所有ですが、無料で解放しています。元々は切り花栽培の



ために山に様々な樹木を植えたのが始まりだそうです。山全体が、桜や梅、花桃、レンギョウ、椿などの様々な花で覆い尽くされて、まるで桃源郷のようです。三春の滝桜もすばらしいのですが、出かけてみてはいかがでしょうか。(ただし、シーズン中はとても混雑します)

【福島県・福島市】の巻 総務係 渡辺 靖

次に紹介するのは、吾妻山のうちの2カ所のハイキングコースです。まず最初は、吾妻スカイラインの浄土平からのコースです。浄土平の近くに一切経山という山がありますが、頂上まで約2時間位で登ることができます。頂上からは『魔女の瞳』と呼ばれる美しい五色沼を眺めることができます。(下写真)そこから鎌沼を通過して、浄土平に戻ることができます。(ただしガスが出やすいので天候にはご注意ください)



もう1カ所は、土湯温泉をさらに登って行くといくつか沼があるのですが、その中の一つに、仁田沼という沼があります。時間的には、市内から車で30分位で遊歩道の入り口まで行き、そこから歩いて20分位でしょうか。ここは4月下旬頃に水芭蕉と、カタクリの花が咲き乱れます。(皇太子様と、皇太子妃の雅子様がハイキングされたそうです)機会があったら是非、足を運んではいかがでしょうか。また、福島市といえば全国有数の果物の産地です。吾妻山の麓を走る全長約14kmの通称『フルーツライン』沿いには、初夏のサクランボに始まり、桃、梨、りんご、ぶどう等の折々の果物を味わうことができます。

以上、自分のおすすめの場所を紹介しました。もっと詳しく知りたい方は、筆者まで。なお、最後までつたない文章にお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

hotv 一息

タイ旅行記

昨年11月にブーケットに行って来ました。ブーケットはタイの南にあるリゾート地で、簡単に言えば南の楽園です。タイと言う国は、正式にはタイ王国で、王様がいます。王様は大統領でもあり、貨幣は全て今の王様の顔が描いてありますし、国の事はほとんど王様の考えで決まるみたいです。ヨーロッパからも近いのでホテルは白人がほとんどで、その他は中国人、日本人等アジア人も結構来ていて世界のリゾートって感じです。滞在中は、基本的に海で遊んでいました。パラソルの下のイス(ビーチチェアって奴です)に寝てのんびり海を眺めて、海に入って、戻って、また

前編

電気通信係 榎本 良司

寝るって感じです。周りの白人の皆さんを見ればひたすら本を読んでいます。なぜ、海に来て本なのか?良くわかりません。そして、ひたすら体を焼いています。皮膚ガンの危険を感じさせるくらいに直射日光を浴びまくっています。彼らの将来が少し心配です。

つづく



砂いじりをしている私(上写真)

ミーちゃん&ハル君の
ちょっとからくち
三春ダム

この間上流に遊びに行ったら、小さなダムのようなものがあったよ。でも、土砂でいっぱいになっていただけ、これじゃダムとしては役に立たないよね？



ハル君これは砂防ダムだよ。三春ダムのように水を貯めるのが役割じゃないんだ。土砂による災害を防ぐための施設なんだ。

大須所長



土砂による災害って？

最も知られているのが土石流災害だね。山が崩れるほど激しい豪雨の時に、崩れた土や石と雨水が一緒になって流れて来るととても怖い災害だよ。砂防ダムは土石流がいったん下流に流れ行くのを防ぎ、土砂災害から住んでいる人を守るんだ。

土石流ってそんなに怖いものなの？



昭和42年から平成13年までの、自然災害による死者・行方不明者のうち22%が土石流によるものだよ。崖崩れなどを含めると、45%を占める位大きなものなんだ。

ダム資料館からのお知らせ

2月5日(木)から3月下旬まで、資料館(1階展示ギャラリー・2階)で、「阿武隈川上流児童図画コンクール入賞作品展」を開催しています。



みんなすくすくうす
でびっけい！



編集後記

先日、広報関連の取材で「日本野鳥の会」の本田忠治さんとお話しをする機会がありました。その中でさくら湖ができてから野鳥の数・種類が増えた、ということを知りました。主なものはカモなどの水鳥ですが、ヒバリのように水と直接関係のない野鳥も、さくら湖ができてから見るができるようになったそうです。ダムは環境破壊の元凶だという指摘もありますが、鳥たちにとって水辺空間ができたことで多様な生息域が創造されて、むしろ住みやすくなった様な気がします。鳥たちの心の内を測り知ることはできませんが、きっとさくら湖ができたことを歓迎してくれているのではないのでしょうか。(佐々木)

そんなに大きな被害があったとは！この間見つけたダムは土砂でいっぱいになってたけど、もう役に立たなくなった砂防ダムなのかな？



砂防ダムは土砂が貯まるまでの役割と、いっぱい貯まってからの二つの役割があるんだ。

土石流が流れてきた時に、止めるだけじゃないの？

まず最初は土石流のように、いったん下流に土砂が行かないように、災害を防ぐことができるんだ。それと、土砂が貯まることによって溪流の勾配が緩くなるよ。そうすると、土石流が起きても流れるスピードがあまり早くないんだ。複数の砂防ダム群を造ることで、土石流のスピードを減じて人が住んでいる所まで被害が及ばないようにしているんだ。

砂防ダムは土砂でいっぱいになってから役にたっているんだね。



その他に、土砂が貯まることで谷の根元が保護されて、山が崩れることを保護する効果もあるんだよ。

ダムはダムでも、三春ダムとは違う役割があるダムなんだね。

資料館俳句ポストだよ

俳句ポストへたくさんのご応募、有難うございます。ご応募頂いた作品の中から、毎月少しずつご紹介いたします。

一羽の鳥	湖面に映る	白い雪	水面ゆれ	鴨の親子に	朝日受け	一巡り	何時もさくら湖	遠客は
------	-------	-----	------	-------	------	-----	---------	-----

ご応募頂いた作品は、「さくら湖俳句展」として4月頃皆さんにご紹介する予定です。

自然観察ステーションからのお知らせ

2月13日(金)、21日(土)、27日(金) 星を見る会

“しま模様の木星が観察できるようになりました。”

所々結氷したさくら湖には、たくさんの冬鳥が訪れています。鳥たちの楽園「さくら湖」においで下さい。

編集・発行 国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>